

議会だより

えりも

No.6

平成25年8月1日



6月定例町議会の概要	2P
一般質問 町診療所の経営改善について	4P
所管事務調査	8P

6月定例町議会

6月20日第2回定例会が開催され平成24年度の一般会計などの補正予算の専決処分や、平成25年度予算の補正など、提出された議案を慎重審議の結果、いずれも原案のとおり全会一致で可決しました。また、一般質問では4人の議員が登壇し町政に関する諸課題について質問しました。

予算の補正

社会福祉施設管理費 63万円
目黒生活館集会所室横の和室の床を改修する費用

福祉センター費 90万円
福祉センター老人室屋根の葺き替え費用等

備品購入費 111万円
災害時に携帯できる無線機の購入

保育所運営費 32万円
児童増加による給食食器の追加購入と統括給湯器の修繕費用

漁港管理費 280万円
笛舞漁港係留施設の修繕負担金120万円とえりも岬漁港北防波堤新設に伴う負担金160万円

公園管理費 69万円
灯台公園トイレの裏壁面ブロックの修繕料

土木管理費 2500万円
平成3年に購入した除雪車両を更新するための費用

義務教育振興費 210万円
えりも中学校への特別教育支援員の配置

診療所臨床検査技師募集広告料 30万円
以前同様の募集広告を行ったものの採用までは至っておらず、広告期間が終了してしまつたため、再度募集広告を行うための追加計上

中学校修繕料 50万円
大雨時に中学校グラウンドから国道へ雨水が流出することを防止するための浸透枮設置費用

財産購入費 60万円
大和地区で平成元年当時個人負担で敷設した水道管を、周辺住民増加のため残存価格で町が買い上げをしたもの

防炎無線戸別受信機貸与事業の流れ
今後のスケジュール
8月 事業規模、発注に係る仕様書等を決定
9月 議会にて条例改正、予算の補正、過疎計画変更などを協議
10月 契約・発注
11月 各世帯への戸別受信機取り付け作業の開始

その他 協議事項等

国民健康保険特別会計繰出金 2200万円
国民健康保険税率維持のための追加計上

PCB処分に関すること
蛍光灯などに使われているポリ塩化ビフェニル(PCB)については人体に被害を及ぼす恐れがある物質であるとして平成13年に適正処理特別法が定められた。
施行後当町においても町有施設を点検しPCBを回収。当時適当な処理施設がなく処分が困難であったため福祉センター内で厳重に保管をし今日に至っている。平成28年度までに処分をしなければいけないもので、当町では今年度処分に向けて登録の準備を進めており、定例会で処分費用605万円の補正が行われた。

職員の給与削減措置について

現在のところ貸出対象は町内在住者で1世帯につき1台、総事業費は4250万円ほどになる予定。
政府は2013年度に地方交付税を6年ぶりに減らす。地方公務員の給与を国家公務員と同様に7・8%減らす事などが要因である。

小児科医の招聘について
子供を持つ親が安心して暮らせるよう町では小児科医を招聘すべく山口県下関在住の医師と連絡を取り合っており、今後町としては継続して協議を進め平成25年度内に契約採用予定。

政府は自治体に給与削減を要請する代わりに自治体の防災対策や地域活性化支援のための資金を新たな交付税として配る方針。当町は行財政改革に基づき給与の自主削減を進めている途中であるため、今回の給与削減要請には応じないものである。

平成24年度
繰越明許費

防災計画作成

329万円

連動する道防災計画作成作業に遅れが生じたため

えりも港湾整備事業負担金

3600万円

平成24年度事業の執行残を国の補正「地域の元気臨時交付金」事業としたもの

公営住宅建設事業

1億8862万円

東部簡易水道

石綿管更新工事

1380万円

本来、平成25年度に予定していた事業であるが、国の補正があったため前倒しで平成24年度に計上したため

繰越明許費とは？

歳出予算はその会計年度内に使用する事が原則（会計年度独立の原則）であるが、何らかの理由により年度内に支出を完了できない見込みのあるものについては議会へ報告し翌年度に繰り越して使用することができ

第3回臨時会

7月23日
午後1時30分～

大和C団地請負契約

指名競争入札契約金額

1億4910万円

（橋本・岡崎・尾上

經常建設共同企業体）

塵芥処理費

3633万円

清掃センター熱交換器伝熱管等の改修工事

林業振興費

32万円

エゾシカ侵入防止柵補修に係る経費

予算の補正

財産管理費

20万円

笛舞及び近浦の旧共同作業所売却に向けての現地測量委託料

環境衛生費

420万円

昭和61年建設の斎場屋上に雨漏り箇所があるための防水改修工事

小学校施設維持費

2331万円

笛舞小学校屋上防水工事

医師住宅整備費

2220万円

小児科医師用住居等の整備

風の館管理運営費

172万円

空調設備の修繕料

議員研修を終えて

運営の未熟、誤った政治、官僚に効率的に働いてもらうなど内容の深い有意義な講演でした。

大坂 庄吉



北海道町村議会議員研究会が6月27日札幌コンベンションセンターで開催されました。

144町村約1600人の議員が参加しました。

講師は慶應義塾大学法学部教授片山善博氏の「議会改革に期待する」とのテーマで始まりました。地方分権を進めるに当たって、議会の機能は重要な責務であること、現場や当事者を重視して臨機応変に対応しチェックポイントを重点において、住民に開かれた議会が必要だと助言をいただきました。

続いて政治アナリスト伊藤惇夫氏の「今後の政局、政治展望」と題し講演。

好調を維持する安倍政権、失敗から学んだことは安定した政権作り、最大課題は景気経済に持続的回復と将来の安心感、成長戦略と雇用の充実が重要。準備と蓄積がなければ政権は実

験で終わってしまう。政治

6月28日には自主研修を計画しており北海道立消費生活センターにて「悪質商法にだまされないために」と題し、坂井説明員による勉強会をいたしました。

資料の中からさまざまな事例が出されました。道内の相談件数は昨年度36件、今年度1件で、相談者の平均年齢は67歳。石狩地方を中心に胆振、空知地方からも相談があった。被害に遭って困ったときには消費生活相談窓口へすぐ相談してください。

また、クーリングオフ制度はご存じですか。訪問販売や電話勧誘販売など、契約を解除することができ

ますのでご相談してみたいかがでしょうか。

1泊2日の議員研修会で活動で得た知識を地域活性化に役立てていき

た議員一同考えております。

一般質問

大坂庄吉議員



医療 町診療所の経営改善について

医師3人体制で経営は大丈夫か

週末宿直医や代替医師を減らす方向で協議する

問 大坂議員 町診療所の経営状況は依然厳しく一般会計からの繰入も町財政にとつて大きな負担となつております。町民の貴重な税金を投入するわけですから経営はしっかりと町民に説明できるものでなければなりません。この度町長は小児科医師の招へいに意欲を示され、近いうちに医師3人体制を実現させたいと述べました。

答 診療所事務長 確かに毎年1億数千円に一般財源を投入していただいております、今回の小児科医師の招へいにあつても、様々な部分で予算計上させていただくことと思ひますが、今後常勤の医師と協議しながら、週末宿直医や代替医師を減らすなどして経費削減を行つていきたいと思つております。今回の小児科医師の招へいは他町への依存度が高かつた小児科を地元で行うことにより親の負担軽減を行おうというものです。また広尾町の小児科専門医が昨年9月に閉鎖となり診療

① 限りなく税金をつぎ込むことについてどう考えているか。
② 診療所の経営改善についての見解をお伺いします。

所の役割は今後さらに重要になつてくると考えております。経営改善については医師の期末・勤勉手当の削減や電気料の節約など、今後もできることは行つていきたいと考えています。しかしながら診療所施設も築16年を経過し、施設や医療機器の老朽化が進んでいるため、中長期的に施設の修繕や医療機器の入替を行つていく必要があることをご理解願ひます。

行政改革

デマンド監視装置の設置について

節電のため町施設にデマンド監視装置を

問 試験的に装置を導入し使用状況の分析を進める

答 大坂議員 電気料金金は最大電力需要(デマンド値)と電

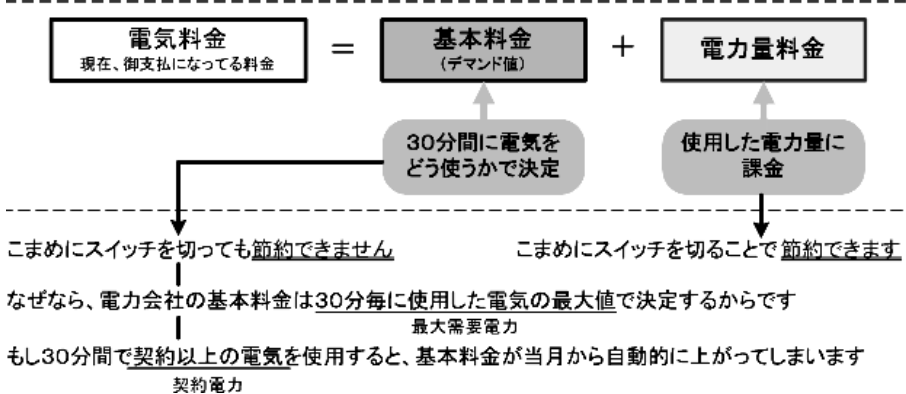
力量によつて料金が決まりますが、数年前から最大電力需要を抑えるためのデマンド監視装置を導入する施設が増えていきます。9月から電気料金もあがるそうですし、装置も安価でありますので町施設にもデマンド

答 総務課長 当町におきまして、最大電力需要を抑制することが安価な基本料金につながり、電気料金を節約する上で有効であることは理解しております。本年は役



一般会計からの繰入金は毎年1億数千円にのぼる

場庁舎に、とりあえず一般的に電力需要が増加する夏場までに、北海道電気保安協会からデマンド監視装置を無償で貸与していただき電力の使用状況を分析する予定であります。その結果を踏まえ、今後の対応についてどのようにしていくのか検討したいと考えております。



高松亮裕議員



防災

災害時要援護者に関する 個人情報提供について

自治会に要援護者の情報を

政令などを見極めながら検討する

問

高松議員 災害時、特に津波等広範囲にわたる被害が発生した場合、高齢者や障害者等の救助に当たるのは近隣の地域住民です。

このような要援護者を救助するためには、役場内部で福祉、防災、消防各部門が情報を共有することはもちろん、あらかじめ自治会や地元消防団に町が保有する要援護者の個人情報を提供しておく必要があります。

以前は個人情報保護法の壁があり難しい面もありましたが、東日本大震災以来、やはり人命を最優先するという観点から、えりも町でも積極的に情報を提供することを自治会長会議で表明しました。しかし、やみくもに個人情報を第3者に提供すること

今後示される政令等をよく見極めながら、個人情報を自治会等に提供することなどを含め、検討したいと考えております。

高松議員 個人情報が流出し、詐欺などの犯罪に悪用される可能性があるよう、個人情報の管理に当たっては最大限の配慮をお願いします。

交通

目黒地区道路情報 告知看板の設置について

豊似湖線の通行止め情報を表示すべきでは

林道は公道と違い管理が難しい

問

高松議員 目黒地区、豊似湖に通じる道路が通行可能かどうかは、目黒孵化場からさらに数キロ入ったゲートのあるところまで行かなければわからないという大変不便な状況にあります。

「大規模林道えりも線」と併せ、国道付近、あるいは通行者にとって目に留まりやすい目黒地区の集落が途切れたあたりに、道路状況を知らせる看板を設置すれば、地域住民や豊似湖を訪れる旅行者等、道路利用者の不便を解消する事ができると思います。



緊急時の迅速な対応に
情報は不可欠

両路線とも林道であり、道路情報を的確に表示することは、毎日必ず安全確認作業が必要なことと、万が一事故等があつた場合、公道とは違い林道に関しては何ら補償がないことから難しいと思います。

ただし、冬期間や何らかの災害等による「通行止め」の看板設置については、えりも線については対応していきたいと思ひます。

また、豊似湖に通じる道路に関しては、管理している森林室と協議し、どこまで対応できるか検討していきたいと思ひます。

答

企画課長 当町でも国のガイドラインに沿って平成22年度末より福祉情報の中から要援護者の対象となる方の名簿作成に取り掛かっております。

そして、つい先日、6月17日の国会で災害対策基本法が改正され、避難に支援が必要な災害弱者の名簿作成が市町村に義務付けられ、本人の同意を得て、消防機関などに提供することが決定されました。

答

産業振興課長 現在、目黒墓地から孵化場を通り、庶野までの道路は、「大規模林道えりも線」として、産業振興課が管理し、また、えりも線から分岐し豊似湖に通じる道路は、日高振興局森林室が管理

しています。



近年注目を集める豊似湖、重要な観光資源としても期待される

石川昭彦議員



防災

防災無線戸別受信機の 全戸設置について

昆布小屋等にも設置させるべきでは

問 現在のところ1世帯1台を原則とする

答 石川議員 町長が選挙の公約の1つとした戸別受信機の全戸設置について質問をします。このことについては難聴の苦情も多く、防災のためには情報を確実に速やかに全町民に伝えることがすべての基礎となるとの思いから、私も是非ともやっつけたいと思っております。今年度内の事業という事ですので、何点か質問をいたします。

問 企画課長 戸別受信機の設置については、町長の公約にそって準備を進めてまいります。事業概要としては、全世帯を対象とした無償貸与とし、通常のアンテナ等の設置費用も町負担とします。

答 ①財源は、これまで国への要望を含め、補助制度を活用して整備できないか模索しておりましたが、こうした制度を望めない状況であります。そこで、起債（借金）により事業を進めたいと考えております。借入金には返済額の7割が国から補填される、町にとっては有利な借入金制度の活用を予定しております。

②戸別受信機の電気料金及

び停電時に備えた電池の交換費用、利用者ご本人が誤って受信機を破損させた場合の修理費用をご負担いただきます。

③台数の制限は1世帯1台を原則としたいと考えております。

④設置対象につきましては約1600世帯。7月から8月に仮申し込みを町民の皆様にお願ひし、9月定例会で議会に条例、予算のご提案をさせていただく予定でございます。年内には設置作業を開始し、年度内で事業完了と考えております。



今年度中に整備される予定の戸別受信機

手塚裕警議員



産業

基幹産業の振興について

基幹産業については町主導でマーケティングを

問 今後とも体制づくりに向けて検討していく

答 手塚議員 当町は言うまでもなく漁業と観光の町である。漁業については獲るだけの時代から殖やす時代を経て、品質を求められる時代と変遷をしてくれている。これからの時代を生き残るためにはさらに「売り込む」という事を積極的に行っていくかなくはならない。

また、観光にしても同様に観光資源の発掘、整備、イベント開催だけでは不十分で「顧客満足度の向上」や積極的な「呼び込み」が求められる。

各自自治体がしのぎを削る中、組合や協会任せではなく町独自の成長戦略が求められ、人口減少、高齢化時代に則した顧客満足型のマーケティングを積極的に行う必要がある。

問 ①町が主導となり生産、加工、販売のプロ（漁業、水産加工業、商業）を集め、総体的な協議会の中でマーケティングを行っていかないか？

答 ②観光係という少人数体制で満足な観光政策を実現できるのか？

答

産業振興課長 今までも各団体・組織を集め、色々なことについて検討してきたことはありますが、難しいものがあると考えます。



町としての統合的な政策を

過去に水産加工関係者を集めて、関係者が連携し、色々なことについて検討協議できるような協議会をつくってはどうかとの話になりましたが、それ以上進展することなく現在に至っている状況でありますが、マーケティング体制をつくれるか？を踏まえ、検討してみ余地はあると考えています。また、組合・協会任せというわけではなく、お互い連携を図りながら進めてきていますし、今後その方向で進めていかなければならないと考えていますので、ご理解ください。

話は変わりますが、昨年2月にえりも漁協の直販所が出来、現在、直販所においては、漁協の品物だけでなく、賛同・協力してくる町内の水産加工業者の製品も置くようになり、水産加工関係者ばかりでなく、町内外者のお客さんにも喜ばれるようになり、これが、えりもの水産物のPRとなり、少しでも消費拡大につながるかと考えています。

また、基幹産業である漁業については、今まで以上に育てる漁業に取り組み、

生産の安定に向けて、より一層の努力をしていきたいと思えます。観光係は2名の体制で、施工・観光の事務や担当する施設の管理と、色々な行事について、各団体の協力をお願いしながら、課内協力を行ってまいります。また、特に観光関係については、観光協会等と常に連携を図りながら行っていますので、その辺をご理解願います。

情報 日高暮らし応援ナビについて

フェイスブックの効果的な運用を

振興局とともに今後検討をする予定である

問

手塚議員 日高振興局の主導のもと2月から試験運用された「日高暮らし応援ナビ」がこの度「ひだかの魅力発信推進協議会」立ち上げに伴い正式運用となり当町も参加していくこととなった。町としてSNS時代の情報発信手段の一つ確保できたことは大きな前進である。今後周知とともに活用を図るようであるが、より効果的な運営を期待する。

①投稿はどのような行われるのか？(担当・内容・情報の収集方法)

答

企画課長 サイトへの投稿に関して は、当面の間、日高振興局地域政策課の担当部署で、各町の情報を載せて

②効果的な運営のために は、まず、各課担当のフェイスブックへの登録が不可欠と思われるがどうか？

答

③このフェイスブック ページ開設の目標の1つとして移住定住促進という事が重要な柱となっているが、当町も移住定住促進政策を積極的に行っていくのか。(空き家情報の提供など)

いくことになっていきます。5月1日から正式運用となっておりませんが、駆け足で進めたこともあって、具体的協議が行われておりません。6月下旬に会議がありますので、この中でサイトの運営や運用の実際について提案がされるものと考えます。また、効果的な運営につきましても、同様で今後検討されるものであります。

移住促進を積極的に行うかとの質問に関しては現在、そのような考えはもっておりません。平成23年にも同趣旨で議員がご質問をなさっております。この事業は、交流人口の拡大や移住定住による町の人口増加をねらいとしており、こうした成果をだすのは容易ではないと考えております。



https://www.facebook.com/hidaka.hokkaido

新人議員紹介



近藤一朗氏

昭和54年4月5日生まれ
最終学歴 八戸大学商学部
職業 漁師
血液型 B型

この度、先の町議会議員補欠選挙で当選した近藤一郎です。趣味はサーフィン。出身は青森県八戸市でありも町民になってから8年目になります。

生粋のえりも人ではありませんが、それを長所と考え、えりも町政に貢献できるように頑張りたいと思っています。

今後の目標として掲げているのは、無駄のない子育て支援と、えりも町の魚を官民一体となり道外及び海外へPRしていくことです。若輩者ですが応援よろしくお願ひします。

二常任委員会

事務管理所合同

名勝ピリカノカ襟裳岬

周知事業について

報を広く発信させる

平成22年8月に「襟裳岬」が国指定文化財名勝の1つとして指定され、広く周知を図るために実施されている次の事業について担当課から説明を受けた。

《平成24年度実施事業》
・多言語DVDの作成、多言語ホームページの作成、《平成25年度計画事業》
・北海道に縁のあるイラストされたパンフレットやDVDは、観光PRにも活用

《平成23年度実施事業》
・多言語パンフレットの作成（6言語）日本語・韓国語・中国語2種・英語・フランス語）、学習会の開催、周知標識の設置、展示解説パネルの製作

・多言語パンフレットの作成（6言語）日本語・韓国語・中国語2種・英語・フランス語）、学習会の開催、周知標識の設置、展示解説パネルの製作

・多言語パンフレットの作成（6言語）日本語・韓国語・中国語2種・英語・フランス語）、学習会の開催、周知標識の設置、展示解説パネルの製作

・多言語パンフレットの作成（6言語）日本語・韓国語・中国語2種・英語・フランス語）、学習会の開催、周知標識の設置、展示解説パネルの製作

漂着した流木等の処理について

台風や津波災害などに起因して、大量の流木等が海岸に漂着しており、「漁業活動に支障が生じる」、「景観が損なわれる」等という町民からの指摘を受け、庶野地区（黄金道路入り口付近の海岸）の状況について調査を行った。

現地には、人の手だけでは収集しきれない大きな流木もあり、再び沖に流された場合、定置網など漁業活動

道が担当すべき業務のようであるが、実際の流木処理については、漁業従事者や自治会等が自主的に行って

町が積極的に収集作業等に必要と考えるが地域主体の海岸清掃に伴い、運搬作業などの協力要請が

町が積極的に収集作業等に必要と考えるが地域主体の海岸清掃に伴い、運搬作業などの協力要請が

町が積極的に収集作業等に必要と考えるが地域主体の海岸清掃に伴い、運搬作業などの協力要請が



黄金道路展望台からの眺め



文化事業ではあるが観光資料としても充分活用の価値あり

この人に聞く

日高農業共済組合えりも駐在所

獣医師 記野聡史さん



石川 獣医になった理由は？

記野 子供のころから動物は好きでしたし、特に馬や牛など大きな動物と触れ合うのは楽しいです。

石川 えりも町に何かアドバイスをお願いします。

記野 えりもの人は明るくて話しやすいのでとてもいいと思います。

石川 えりもに来て良かった点はありますか？

記野 海とか山が近くで、町や組合がもう少し

にあつて自然がとても豊かです。何よりも海産物の味は最高ですね。特にウニやツブは大好きです。

石川 えりも町に何かアドバイスをお願いします。

記野 えりもの人は明るくて話しやすいのでとてもいいと思います。

石川 えりもに来て良かった点はありますか？

記野 海とか山が近くで、町や組合がもう少し

しサポートしてあげれば、まだまだ農業も漁業も伸びる余地はあると思います。

資源はたくさんあるので、観光スポットの開発や、お土産品のバリエーションをもっと増やしたらいいと思います。

石川 今日はありがとうございました。これからやりたいことはありますか？

記野 えりもの農業に活気が出るように、若い人たちと話し合っていきたいですね。仕事もしつかりします。

編集後記

庶野地区の今年の昆布漁は7月10日から。旗元である私の責任は重大だ。

庶野地区では毎年20日前後昆布を取っているが昆布を採るか採らないかを判断することは容易なことではない。まず、天気予報を見て頭に叩き込む。天気図をどう理解し読み解くことができるかで力量が問われる。そして、自分がいとも起点とする場所の波を確認し、空、雲、山、風、霧の状態を見て回る。これは自分の持つている経験がものをいう。これらを総合的に判断し旗を揚げるわけであるが心の中は複雑で100%の自信をもって揚げられることなどほとんどない。

今年の昆布の採れる日は何日であろうか？すべては天気と波次第である。今年も事故なく大漁になることを心から願うものである。(笹谷)

議会の動き

- 5月28日 合同所管事務調査
- 6月14日 議会運営委員会
- 6月20日 全員協議会 第2回定例会
- 6月27日 議員研修会 ~6月28日
- 7月1日 軽種馬振興対策 推進協議会総会
- 7月4日 管内軽種馬議連総会
- 7月8日 議会広報特別委員会
- 7月11日 東部消防組合議会 臨時会
- 7月23日 第3回臨時会

通行止め情報などの 防災情報が届きます 是非ご登録ください!

防災情報が携帯電話にメールで届くようになりました!

登録はQRコードにアクセス。



または下記アドレスに空メールを送信してください。

t-erimo@sg-m.jp

議会広報特別委員会委員

委員長 石川昭彦
副委員長 高松裕彦

委員 大塚裕喜
委員 笹谷警